

# 姫路城

2016.04.05

4月5日



世界文化遺產・国宝 姫路城

















# 世界文化遺産・国宝 姫路城





世界文化遺産  
 国宝  
**姫路城**  
 特別史跡姫路城跡

Himeji Castle Nishi-Oyashiki Ato Garden  
**Koko-En**  
 World Cultural Heritage / National Treasure  
**Himeji Castle**  
 姫路城西御屋敷跡庭園  
 好古園  
 世界文化遺産 国宝  
 姫路城  
**共通入場券**  
 Combined Ticket  
 大人  
 有効期限：2016年3月31日

# 姫路城 HISTORY

1333年 赤松則村(円心)、護良親王の命により挙兵  
元弘3年 京に兵をすめる途中、姫山に砦(とりで)を築く

1346年 赤松貞範、姫山に本格的な城を築く  
貞和2年

1441年 山名持豊、播磨国を与えられ姫路に入る  
嘉吉元年

1467年 応仁の乱 赤松政則、姫路城を陥落し、領国  
応仁元年 を回復 本丸、鶴見丸を築く 後に一族の  
小寺氏、その重臣の黒田氏が城をあずかる

1545年 黒田重隆が小寺氏の命により姫路城を任せられる  
天文14年

1546年 黒田孝高(官兵衛)、姫路城で誕生  
天文15年



黒田 官兵衛  
(福岡市美術館蔵)

黒田孝高(官兵衛)、御着城主小寺家家老で姫路城主・黒田職隆の嫡男として姫路城で生まれる。織田信長に反逆した荒木村重との戦いで有岡城に説得に向き、1年間の受身。播磨に進出した羽柴秀吉の軍師として中国攻めなどに戦略的手腕を発揮する。

1580年 羽柴(豊臣)秀吉が黒田孝高(官兵衛)の  
天正8年 勤めて入城



羽柴 秀吉(京都市 光福寺蔵)

中国毛利勢討伐の武将として播磨入りし1580(天正8年)正月、三木城の別所長治を滅び、播磨を平定。その後、黒田孝高の進言を受け、同年4月、毛利氏攻略の拠点として姫路に入る。1583(天正11年)に大坂城を築くまで3年間姫路城主。

1581年 秀吉、姫路城に三重天守を築く  
天正9年

1583年 秀吉が大坂城へ移り、弟・羽柴秀長が入封  
天正11年

1585年 秀吉の正室(北政所)の兄・木下家定が入封  
天正13年

1600年 関ヶ原の戦の後、池田輝政が姫路城主に  
慶長5年



池田 輝政  
(姫路市 圓教寺蔵)

戦国武将・池田恒興の次男、小牧・長久手の戦で父と兄が戦死し、父の後を継いで大垣城主。その後、岐阜城に移る。秀吉の小田原攻め、会津攻めに参戦。1594(文禄3年)に秀吉の仲介で徳川家康の次女・督姫と結婚。その後、関ヶ原の戦いで武功が認められ、播磨52万石で姫路城主となる。

1601年 池田輝政、姫路城大改築開始  
慶長6年

1609年 五重七階の連立式天守が完成  
慶長14年

1617年 本多忠政が伊勢国桑名から嫡男・忠刻、千姫とともに入封  
元和3年



本多 忠政(本多大將氏蔵) 千姫(京都市 弘経寺蔵) 父は、徳川四天王の一人、本多忠勝。秀吉の小田原攻めや関ヶ原の戦いに参戦。大坂の陣の戦功により、姫路に転封となる。2代将軍徳川秀忠の長女・千姫は、7歳で豊臣秀頼と結婚。大坂夏の陣で大坂城から脱出。1616(元和2年)、本多忠刻に再嫁し、姫路城で10年過ごす。

1618年 本多忠政、鷺山に西の丸を築く  
元和4年

1639年 松平忠明が大和国郡山から入封  
寛永16年

1648年 松平直基が出羽国山形から入封  
慶安元年

1649年 榊原忠次が陸奥国白河から入封  
慶安2年

1667年 松平直矩が越後国村上から入封  
宣文7年

1682年 本多忠国が陸奥国福島から入封  
天和2年

1704年 榊原政邦が越後国村上から入封  
宝永元年

1741年 松平明矩が陸奥国白河から入封  
寛保元年

1749年 酒井忠恭が上野国前橋から入封  
寛延2年 城下大洪水の被害

1808年 家老・河合道臣(寸翁)が財政改革に着手  
文化5年



河合道臣 像

1787(天明7年)、21歳で家督を継ぎ、姫路藩家老に。1808(文化5年)、ときの藩主酒井忠道から負債73万両に膨らんだ姫路藩財政の立て直しを命じられる。姫路木綿の江戸専売権取得や様々な藩営事業を行い、1834(天保5年)には負債を完済。

1867年 大政奉還  
慶応3年

1868年 酒井忠邦、版籍奉還を申し出  
明治元年

最後の藩主となった酒井忠邦が天皇に領地と領民を返還する「版籍奉還」を発案。1869(明治2年)姫路藩知事に任じられたが、同4年廃藩置縣により、姫路藩は廃止されて姫路県が置かれた。

1873年 姫路城、存城が決定  
明治6年

全国城郭存廃・処分並兵営地等撰定方(廃城令)が発せられ、姫路城は名古屋城や熊本城などとともに全国56の存城の一つに加えられることになった。



1874年 歩兵第10連隊の1中隊、姫路城内仮営所へ移転  
明治7年

1889年 姫路市誕生

1910年 明治の大修理開始(~明治44年)  
明治43年

1931年 姫路城天守閣、国宝(旧国宝)に指定  
昭和6年

1934年 昭和の大修理開始  
昭和9年

1945年 姫路空襲  
昭和20年 太平洋戦争の2度の空襲で姫路のまちは焦土となるが、姫路城は奇跡的に生き残る。



1950年 昭和の大修理再開  
昭和25年

1951年 姫路城天守など8棟、国宝に指定  
昭和26年

1952年 姫路城内濠以内、特別史跡に指定  
昭和27年

1956年 大天守等の解体修理開始(~昭和39年)  
昭和31年



1993年 日本初の世界文化遺産に登録  
平成5年

外観の美しさと城としての実用性を兼ね備え、日本の木造城郭建築の代表例としてユネスコの世界遺産リストにその名が登録された。

2009年 大天守保存修理工事着工(平成の修理)  
平成21年



2015年 大天守保存修理工事終了



姫路城

2016.04.05

昨年姫路城が6年かけたお化粧なおし[大天守保存修理工事(平成の修理)]が終わって真っ白くなった。それから1年ほどが経った。40年ぶりさくらの季節に是非一度行こうと考えており、やっと4月5日に行ってきた。8時30分に家を出て、神鉄緑が丘-新開地-山陽姫路と片道約2時間かかった。昼食にはまだ早いのでまづ駅から姫路城まで約1kmを歩いて行った。それでもまだ早いので姫路城西御屋敷跡庭園好古園に入った。ここは初めてだがとてもきれいな日本庭園で素晴らしかった。花の時期もよくさくら、ミツバツツジ、シャクナゲ、ボケ、レンギョウ、トキワマンサク(白)・・・がきれいに咲いていた。昼食は以前からここに来たら一度「姫路おでん」を食べることを決めていたため再び駅までわざわざ戻って近くの食堂で姫路おでんを食べた。初めて生姜醤油でおでんを食べたおいしかった。ウィークデイなのに城も庭園も食堂、そして姫路の街も、とても多くの人出だった。腹ごしらえも終わり、やっと姫路城に入るようになった。すこし曇り空でせつかくの桜は晴天ほどさえなかったが、さすが姫路城はとてもきれいで、大きな雄姿を呈し豪快かつ神々しい……。天守閣に上るのに待ち行列は長く40~60分かかるとのことだったが、それでも並んだ甲斐があった……。一番上まで登った。天守閣からの景色も素晴らしく桜と一緒に良い記念写真も撮れた。山陽姫路-新開地-緑が丘全く同じコースを逆ルートで帰り緑が丘駅についたのは19時少し過ぎで既に薄暗かった。自宅~緑が丘駅までの往復、姫路駅~お城 2往復を含め普段の2倍以上歩いた、疲れた。歩数計は22,184歩にも達した。なおこの日は46回目の結婚記念日でもあり、印象的な1日であった。





國宝姫路城

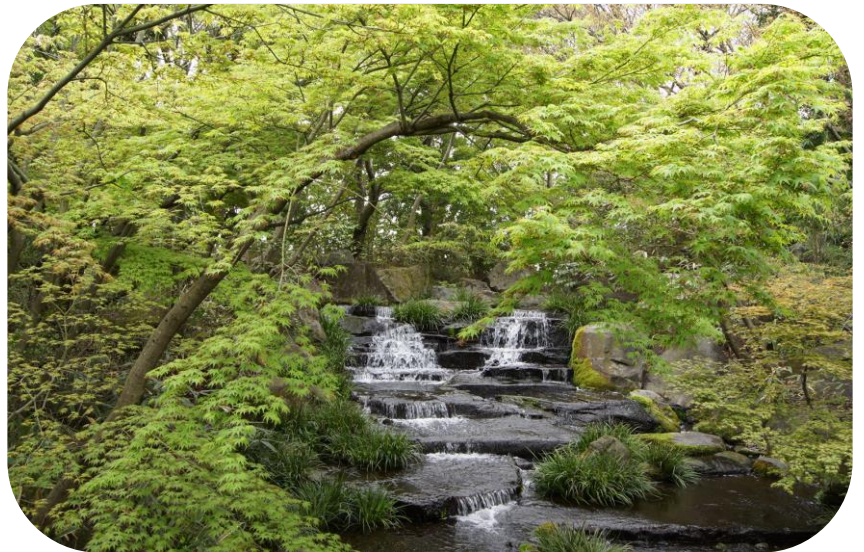
特別史跡 姫路城跡

姫路市長 戸谷松司書

姫路城西御屋敷跡庭園

# 好古園







姫路城西御屋敷跡庭園 好古園





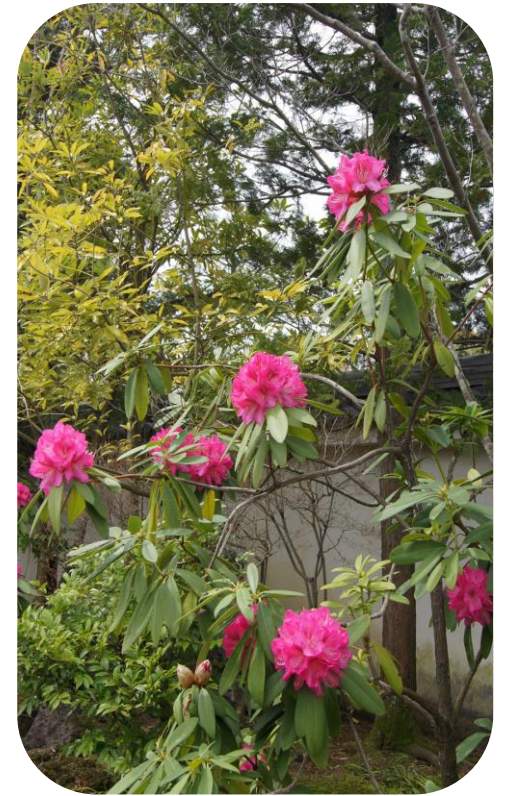
姫路城西御屋敷跡庭園 の好 の古 の園





ボケ

レンギョウ



姫路城西御屋敷跡庭園 好古園



シャクナゲ



# 姫路城西御屋敷跡庭園 好古園



シロハナトキワマンサク



ヤブコウジ



シャクナゲ